
「胆道閉鎖症を疑われた乳幼児の腹部超音波データを用いた胆嚢収縮能に関する後方視的観察研究」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの情報を用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、【総合医療センター研究倫理委員会】の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2021年7月28日から2023年3月15日の期間に【埼玉医科大学総合医療センター】を受診し、胆道閉鎖症が疑われ、腹部超音波検査を実施した患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

胆道閉鎖症は、肝臓の線維化を進行させる病気で、早期の診断と手術が非常に重要です。診断には、試験開腹や胆道造影が必要ですが、これらの手法は侵襲性が高いため注意が必要です。今回の研究では腹部超音波検査を用いて胆道閉鎖症の特徴的な所見や哺乳前後の胆嚢収縮を評価します。胆道閉鎖症と診断された患児とそうでない患児の腹部超音波検査所見を比較し、腹部超音波検査がどれだけ有用か検証します

3. 研究期間

病院長の許可後～2025年2月20日

4. 利用または提供の開始予定日

2024年10月4日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

研究対象者の背景：年齢、性別、現病歴、既往歴、合併症、身長、体重、BMI、薬歴
症状および所見：胆嚢委縮 TC sign, 哺乳による胆嚢収縮（哺乳前後の胆嚢短径の収縮率）等
腹部超音波検査での評価項目

この研究で得られた患者さんの情報は、【総合医療センター中央検査部】において、研究責任者である山下美奈子が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

胆道閉鎖症を疑われ腹部超音波検査を実施した際の検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

・ 埼玉医科大学総合医療センター 中央検査部 山下 美奈子（研究責任者）

4. 試料・情報の管理責任者

【埼玉医科大学総合医療センター】 病院長 別宮 好文

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター 中央検査部 担当：山下 美奈子

住所：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981 番地

電話：049-228-3520（直通）（平日 9：00～17：00）

○研究課題名：*胆道閉鎖症を疑われた乳幼児の腹部超音波データを用いた胆嚢収縮能に関する後方視的観察研究*

○研究責任者：埼玉医科大学総合医療センター 中央検査部 山下 美奈子